

ふりがな

さとう よしふみ

氏名

佐藤 仁史

1. 学歴

- 1995年3月 慶應義塾大学文学部史学科東洋史学専攻卒業
- 1995年4月 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程史学専攻入学
- 1997年3月 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程史学専攻修了、修士（史学）
- 1997年4月 慶應義塾大学大学院文学研究科博士後期課程史学専攻入学
- 2000年3月 慶應義塾大学大学院文学研究科博士後期課程史学専攻単位取得退学
- 2003年10月 慶應義塾大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（史学）

2. 職歴研究歴

- 2000年4月 財団法人東洋文庫奨励研究員（PD研究員）
- 2001年4月 滋賀大学教育学部講師
- 2004年4月 滋賀大学教育学部助教授
- 2007年4月 滋賀大学教育学部准教授
- 2009年4月 一橋大学大学院社会学研究科准教授
- 2014年4月 一橋大学大学院社会学研究科教授（現在に至る）
- 2016年9月～2017年8月 香港における在外研究
- 2016年9月～2017年2月 香港浸会大学近代史研究中心 Overseas Senior Research Fellow
- 2017年3月～6月 香港中文大学歴史人類学研究中心 Research Fellow
- 2017年6月～8月 香港科技大学人文学院 Visiting Scholar

3. 学内教育活動

（A）主な担当講義名

（a）学部学生向け

アジア社会史総論B、アジア社会史特論B、歴史学、社会史方法論、社会史史料講読（アジア）B
社会研究入門ゼミナール、教養ゼミナール、導入ゼミナールⅠ・Ⅱ

（b）大学院

アジア社会史Ⅱ（近現代）B
社会科学研究の技法

（B）ゼミナール

学部後期、大学院演習

4. 主な研究テーマ

- （1）江南地方の在地知識人の郷土意識や国家観文明観
- （2）土神（地方神）への信仰や廟会（祭り）を媒介とする村落社会の秩序の変容
- （3）中国農山漁村におけるローカルコモンズと生態環境

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書編著

【著書】

佐藤仁史・吳滔・張舫瀾・夏一紅『垂虹問俗——田野中的近現代江南社会与文化』広州：広東人民出版社、2018年、全336頁（全書の編集、1-23、89-108、145-173、223-274頁の執筆）。

佐藤仁史『近代中国的郷土意識——清末民初江南的地方精英与地域社会』北京：北京師範大学出版社、2017年、全432頁。

吳滔・佐藤仁史『嘉定県事——14至20世紀初江南地域社会史研究』広州：広東人民出版社、2014年、全316頁（153-203、245-291、312-316頁の執筆）。

佐藤仁史『近代中国の郷土意識——清末民初江南の在地指導層と地域社会』研文出版、2013年、全445頁。

【編著】

杜正貞・佐藤仁史編『山林、山民与山村：中国東南山区的歴史研究』杭州：浙江大学出版社、2020年、全312頁（全体の編集、1-26、112-138、239-293、306-309頁の執筆）。

羅雪昌著、杜正貞・佐藤仁史・陳明華・宮原佳昭・相原佳之編『見証：一位普通農民的70年』杭州：浙江大学出版社、2019年、全206頁（全体の編集）。

太田出・佐藤仁史・長沼さやか編『中国江南の漁民と水辺の暮らし——太湖流域社会史口述記録集3』汲古書院、2018年、全480頁（96-473頁の編集）。

沈潔・趙軍・佐藤仁史監修・解説、佐藤量・菅野智博解説『写真記録「満洲」生活の記憶』全6巻・別巻、近現代資料刊行会、2017-2018年（別巻5-22頁の執筆）。

中国都市芸能研究会編『中国皮影戲調査記録集——皖南遼西篇』好文出版、2014年、全502頁。

漢字文献情報処理研究会編『人文学と著作権問題—研究教育のためのコンプライアンス』好文出版、2014年、全225頁（全体の編集に参加）。

漢字文献情報処理研究会編『大学で学ぼう——知のスキルアップ15』好文出版、2013年、全166頁（全体の編集に参加）。

小島毅監修・高津孝編集『東アジア海域に漕ぎだす3 暮らしがたがう寧波と日本』（共著）東京大学出版会、2013年、155-170頁。

漢字文献情報処理研究会編『電腦中国学入門』好文出版、2012年、全231頁（92-95、120-121、156-157、160-161、178-181頁の執筆）。

佐藤仁史・太田出・藤野真子・緒方賢一・朱火生編『中国農村の民間藝能——太湖流域社会史口述記録集2』汲古書院、2011年、全448頁（全体の編集、3-15、53-74頁の執筆、91-443頁の編集）。

佐藤仁史・太田出・稻田清一・吳滔編『中国農村の信仰と生活——太湖流域社会史口述記録集』汲古書院、2008年、全412頁（全体の編集、3-12、29-46頁の執筆、93-405頁の編集）。

太田出・佐藤仁史編『太湖流域社会の歴史学的研究——地方文献と現地調査からのアプローチ』汲古書院、2007年、全397頁（全体の編集、65-102、233-279、311-314、322-323、332-345、347-349頁の執筆）。

漢字文献情報処理研究会編『電腦中国学——インターネットで広がる漢字の世界』好文出版、1998年、全287頁（244-255頁の執筆）。

(b) 論文

佐藤仁史「フィールドワークと地域社会史研究」飯島渉編『大国化する中国の歴史と向き合う』研文出版、2020

- 年、47-74 頁。
- 佐藤仁史「ふるさとの語り方——大連引揚者二世の編纂物にみる満洲の記憶」佐藤量・菅野智博・湯川真樹江編『戦後日本の満洲記憶』東方書店、2020 年、131-163 頁。
- 佐藤仁史「田野中的近現代江南社会与文化」(円卓「重新發現江南：新問題与新進路」)『探索与争鳴』2019 年第 2 期、20-22 頁。
- 佐藤仁史「非遺時代における中国民俗文化の行方——蘇州吳江の宣卷芸人を事例に」石光生・邱一峰・山下一夫・氷上正・戸部健・千田大介・平林宣和・佐藤仁史著『中華圏の伝統芸能と地域社会』好文出版、2019 年、173-205 頁。
- 佐藤仁史・陳明華・張笑川「常熟宣卷調査報告——虞山鎮の一講經先生に即して」『中国都市芸能研究』第 17 輯、2019 年、74-90 頁。
- 佐藤仁史「当代江南農村的宣卷与民俗生活：以宣卷芸人的演出記録為中心」氷上正・山下一夫編『地方戲曲与皮影戲——日本学者華人戲曲曲芸論文集』台北：博揚文化事業有限公司、2018 年、203-263 頁。
- * 佐藤仁史「“迷信” 与非遺之間：關於江南的民間信仰与農村婦女的一些思考」『民俗研究』2018 年第 1 期、2018 年、42-50 頁。
- * 佐藤仁史「從“滿鉄上海事務所” 看日本的華中調査」、『蘇州科技大学学報(社会科学版)』2017 年第 6 期、2017 年、76-86 頁。
- 佐藤仁史「歴史学者の行うフィールドワーク——江南地域社会史調査の場合」西澤治彦・河合洋尚編『フィールドワーク：中国という現場、人類学という実践』風響社、2017 年、419-443 頁。
- 佐藤仁史「宣卷与江南農村的民俗生活：着眼於芸人与客戶的關係」王定勇編『中国宝卷國際研討会論文集』揚州：広陵書社、2016 年、280-293 頁。
- * 佐藤仁史「被切斷的記憶：從一位「富農」的敘述看近代江南的農村社会」『東吳歴史学報』第 36 期、2016 年、7-37 頁。
- 佐藤仁史「近現代中国における民間信仰と「迷信」の表象——江南地方の場合」関根謙編『近代中国 その表象と現実——女性戦争民俗文化』平凡社、2016 年、314-340 頁。
- 佐藤仁史「中国近現代史研究における研究情報のデジタル化」漢字文献情報処理研究会編『論集：中国学と情報化』好文出版、2016 年、79-90 頁。
- * SATO Yoshifumi、The Recent History of the Fishing Households of the Nine Surnames: a Survey from the Counties of Jiande and Tonglu, Zhejiang Province, in He Xi and David Faure eds., The Fisher Folk of Late Imperial and Modern China: A Historical Anthropology of Boat-and-Shed Living(London: Routledge)2015,pp.173-182.
- 佐藤仁史「近代江南の漁民与信仰：以天主教為中心」『近代中国基督教史研究集刊』第 10 期、2015 年、107-118 頁。
- * 佐藤仁史・湯川真樹江・菅野智博「關於滿州遣返日人団体的會報及其史料價值」『暨南史学』第 17 号、2014 年、139-164 頁。
- 佐藤仁史「近代江南の漁民と天主教」『歴史評論』765 号、2014 年、37-46 頁。
- 佐藤仁史「民間信仰からみる江南農村と華北農村」本庄比佐子編『華北の発見』汲古書院、2013 年、201-226 頁。
- 佐藤仁史「日本の近現代中国基層社会史研究与田野調査」邵軒磊・石之瑜・何培忠編『戦後日本の中国研究——口述知識史(第二冊)』国立台湾大学政治学系中国大陸暨兩岸關係教学与研究センター、2013 年、229-255 頁。
- 佐藤仁史「近代江南における村落社会と芸能——宣卷と堂名を中心に」氷上正ほか編著『近現代中国の地域社会と芸能——皮影戲京劇說唱』好文出版、2013 年、1-30 頁。
- * 佐藤仁史「從地方報看江南市鎮社会在 1920 年代的嬗變——以新南社的活動為中心」連玲玲編『万象小報——近代中国城市的文化、社会与政治』中央研究院近代史研究所、2013 年、307-408 頁。
- * 佐藤仁史「民国時期江南の廟會組織与村落社会——以吳江市的口述調査為中心」『中国社会歴史評論』第 13 号、

2012年、128-142頁。

佐藤仁史「從清末民国時期的“教育圈”看江南市鎮——以江蘇省吳江縣為例」復旦大學歷史系編『明清以來江南城市的發展與文化交流<復旦史學集刊第四輯>』復旦大學出版社、2011年、102-124頁。

佐藤仁史「回顧される革命——ある老基層幹部のライフヒストリーと江南農村」山本英史編『近代中国の地域像』山川出版社、2011年、381-419頁。

* 佐藤仁史「清末における城鎮郷自治と自治区設定問題——江蘇蘇屬地方自治籌辦処の管轄地域を中心に」『東洋史研究』第70巻第1号、2011年、127-165頁。

佐藤仁史・太田出「中国近現代口述史における「語り」とオーラルヒストリー資料」岩本通弥・法橋量・及川祥平編『オーラルヒストリーと〈語り〉のアーカイブ化に向けて——文化人類学社会学歴史学との対話』成城大学民俗学研究所グローバル研究センター、2011年、69-82頁。

佐藤仁史「フィールドワークと近現代江南農村——太湖流域社会史調査に即して」高田幸男・大澤肇編『新史料からみる中国現代史——口述電子化地方文献』東方書店、2010年、7-29頁。

佐藤仁史「近現代江南の村落社会と民間信仰：以吳江市的口述調査を中心」復旦大學歷史系編『江南與中外交流<復旦史學集刊第三輯>』復旦大學出版社、2009年、69-82頁。

佐藤仁史「民国期江南の廟会組織と村落社会——吳江市における口述調査を中心に」『近きに在りて』第55号、2009年、57-70頁。

* 佐藤仁史「清末民初在郷知識份子の文明觀と郷土觀」『日本中国史研究年刊<2006年度版>』日本中国史研究年刊行会、2008年、267-298頁。

佐藤仁史・太田出「太湖流域社会史現地調査報告——外国史研究者とフィールドワーク」『近代中国研究彙報』第30号、2008年、91-115頁。

* 佐藤仁史「清末民初の在郷知識人における文明と郷土」『中国——社会と文化』第21号、2006年、33-55頁。

* 佐藤仁史「清末民初江南的地方精英的民俗觀：以“歌謠”為線索」『中国社会歴史評論』第6号、2006年、183-200頁。

* 佐藤仁史「清末民初の政争における地域対立の構図——江蘇省嘉定県におけるエリート自治政党」『歴史学研究』第806号、2005年、9-35、43頁。

* 佐藤仁史「地方新聞が描く地域社会、描かない地域社会——1920年代、吳江県下の市鎮の新聞と新南社」『歴史評論』第663号、2005年、43-55頁。

佐藤仁史「近代中国の郷土教科書にみる郷土と国家」『歴史と地理——世界史の研究』第203号、2005年、58-62頁。

* 佐藤仁史「近代中国における地方志と郷土意識——江南地方を中心に」『史潮』新56号、2004年、29-51頁。

佐藤仁史「清末民国期の地方志と地域の叙述」『アジア遊学』56号(特集 中国の虚像と実像)、2003年、55-64頁。

* 佐藤仁史「清末民初江南の地方エリートの民俗觀——「歌謠」をてがかりに」『史学』第72巻第2号、2003年、59-90頁。

佐藤仁史「清末民初における徴税機構改革と政治対立——江蘇省嘉定県の夫束問題を事例に」『近きに在りて』第39号、2001年、281-298頁。

佐藤仁史「2000年度の歴史学界——回顧と展望——東アジア中国近代」『史学雑誌』第110巻第5号、2001年、254-263頁。

佐藤仁史「中国における近現代史史料のデジタル化の試み——上海デジタル図書館の場合」『漢字文献情報処理研究』創刊号、2000年、36-43頁。

* 佐藤仁史「近代江南地域社会史研究の成果と課題——小田(朱小田)氏の江南郷鎮社会研究によせて」『史学』第69巻第34号、2000年、283-302頁。

佐藤仁史「20世紀初頭の中国における地方政治と言論——江蘇省嘉定県の地方紙『嚶報』に即した初歩的分析」

富士ゼロックス小林節太郎記念基金、1999年、全35頁。

- * 佐藤仁史「清末民国初期上海農農村部における在地有力者と郷土教育——『陳行郷土志』とその背景」『史学雑誌』第108巻第12号、1999年、1-36頁。
- * 佐藤仁史「清末民国初期における一在地有力者と地方政治——上海県の《郷土史料》に即して」『東洋学報』第80巻第2号、1998年、84-121頁。
- * 佐藤仁史「清朝中期江南の一宗族と区域社会：以上海曹氏為例的個案研究」『学術月刊』第323号、1996年、83-89頁。

(c) 翻訳

- ティモシーリチャード（蒲豊彦・倉田明子監訳）『中国伝道四五年：ティモシーリチャード回想録』（平凡社東洋文庫903）平凡社、2020年、全456頁（担当：24-52、272-287、332-346頁）。
- 夏氷（佐藤仁史訳）「清末民初蘇州の民紳層とその活動」『史学』第76巻第4号、2008年、1-25頁。
- 巴兆祥（佐藤仁史訳）「清末郷土志考」『史学』第73巻第1号、2004年、35-68頁。
- プラセンジットドゥアラ（Prasenjitt Duara）（山本英史・佐藤仁史訳）「《地方》という世界——政治と文学に見る近代中国における郷土」山本英史編『伝統中国の地域像』慶應義塾大学出版会、2000年（分担：345-362頁）。

(d) その他

【紹介文・エッセイ・目録】

- 藤谷浩悦・田中比呂志・佐藤仁史・宮原佳昭「鳥居文庫所蔵文献目録」『アカデミア 社会科学編』（南山大学）第19号、2020年、105-121頁。
- 古海建一回想、大野絢也・佐藤仁史・井田光祝編集・解題「追憶片々——満洲引揚者のインタビュー記録」『満洲の記憶』第6号、2020年、2-47頁。
- 佐藤仁史・千田大介・師茂樹「2018年夏期中国視察報告」『漢字文献情報処理研究』第18号、2018年、148-168頁。
- 佐藤仁史「デジタル時代の中国学②」『漢字文献情報処理研究』第18号、2018年、93-100頁。
- 佐藤仁史・大野絢也「20世紀大連会議『The Great Connection』記事目録」『満洲の記憶』第5号、2018年、100-124頁。
- 佐藤仁史ほか「『わが心のハルビン』記事目録」『満洲の記憶』第3号、2016年、31-58頁。
- 佐藤仁史「万方数拠新方志データベース」『漢字文献情報処理研究』第16号、2015年、171-172頁。
- 飯倉江里衣・大野絢也・菅野智博・林志宏・佐藤仁史「日本『満洲の記憶』研究会紹介」『国史研究通説』第8期、2015年、130-136頁。
- 学習院大学国際研究教育機構編『アジアを観る——学習院大学所蔵古写真絵葉書ガラス乾板』学習院大学、2015年、44、47頁。
- 佐藤仁史「蘇州地方文献データベース」『漢字文献情報処理研究』第15号、2014年、118-119頁。
- 大野絢也・菅野智博・湯川真樹江・佐藤仁史・林志宏「下関大連神社所蔵文献資料概述」『国史研究通説』第6期、2014年、188-194頁。
- 佐藤仁史「近現代中国研究に訪れた本格的なデジタル化の時代——『申報数拠庫』の紹介」『東方』第379号、2012年、16-19頁。
- 佐藤仁史・林志宏・湯川真樹江・菅野智博・森巧「中国東北地方文献調査記」『国史研究通説』第2期、2012年、181-186頁。
- 佐藤仁史「隣国の歴史を学ぶということ（特集 歴史学をどう学ぶか）」『歴史評論』745号、2012年、63-66頁。
- 佐藤仁史「学術リソースレビュー 中国国家図書館」『漢字文献情報処理研究』第12号、2011年、135-139頁。

佐藤仁史「神のパトロンがやってきた？——中国農村民俗調査報告」『しがた』(滋賀大学広報誌)第29号、2009年、15頁。

佐藤仁史「学術リソースレビュー 中国史」『漢字文献情報処理研究』第9号、2008年、145-149頁。

佐藤仁史「学術リソースレビュー 中国史」『漢字文献情報処理研究』第6号、2005年、203-205頁。

佐藤仁史「近代中国の地方文献についての覚書」アジア研究ゲートウェイ、2004年 (<https://ricas.ioc.u-tokyo.ac.jp/asj/html/037.html>)

佐藤仁史「学術リソースレビュー 中国近現代史」『漢字文献情報処理研究』第4号、2003年、152-157頁。

佐藤仁史「国際ワークショップ「20世紀中国の構造的変動と辛亥革命」参加記」『孫文研究』第32号、2002年、10-18頁。

佐藤仁史「地方志工作者と地域史研究——追悼顧炳権先生」『中国都市芸能研究』創刊号、2002年、27-37頁。

佐藤仁史「学術リソースレビュー 中国近現代史」『漢字文献情報処理研究』第2号、2001年、164-172頁。

佐藤仁史「清代史研究文献目録データベースの作成とそのWWW上での公開について」『CAS ニューズレター』(慶應義塾大学地域研究センター) No.81、1997年、1-4頁。

【研究調査報告書】

佐藤仁史編『近現代太湖流域農山漁村における自然資源管理に関する現地調査』(科研費基盤研究B報告書)、2017年、全345頁。

佐藤仁史・宮原佳昭・宮内肇「近代中国における風俗改良論——湖南・広東・江南の比較を通して」『2015年度大学研究助成 アジア歴史研究報告書』、公益財団法人JFE21世紀財団、2016年、179-198頁。

神阪京華僑口述記録研究会編『聞き書き関西華僑のライフヒストリー』第2号、神阪京華僑口述記録研究会、2009年、4-97頁。

佐藤仁史「1920年代、江南市鎮の在地指導層と地域統合に関する基礎的考察」『三島海雲記念財団研究報告書』第40号、2003年、75-80頁。

【辞書辞典等の項目執筆】

『世界人名事大典』岩波書店、2013年(清初～清中期の人物27項目を執筆)。

尾形勇編『歴史学事典、10巻(身分と共同体)』弘文堂、2003年、(執筆項目:地方史志の編纂2(中国の)、425-426頁)。

横浜国立大学都市科学部編『都市科学事典』春風社、2021年、60-61頁。

漢文文献情報処理研究会編『デジタル時代の中国学レファレンスマニュアル』好文出版、2001年、152-166、171-174、319-322、366-377、393-417頁。

【書評・新刊紹介】

(新刊紹介) 内山雅生編『中国農村社会の歴史的展開——社会変動と新たな凝集力』(お茶の水書房、2019年)、『アジア経済』第61巻第1号、2020年、103頁。

(書評) 佐藤量著『戦後日中関係と同窓会』(彩流社、2016年)、『歴史人類学学刊』第14巻第2期、2016年、162-165頁。

(書評) 小島浩之編『図書館資料としてのマイクロフィルム入門』(日本図書館協会、2015年)、『漢字文献情報処理研究』第16号、2015年、180-181頁。

(Book Review) 岡本隆司・吉澤誠一郎編『近代中国研究入門』(東京大学出版会、2012年)、『HQ』第39号、2013年。

(書評) 吳滔著『清代江南市鎮と農村関係の空間透視:以蘇州地区為中心』(上海古籍出版社、2010年)、『東洋

- 学報』第94巻第3号、2012年、95-101頁。
- (新刊紹介) 武内房司編著『越境する近代東アジアの民衆宗教：中国・台湾・香港・ベトナム、そして日本』(明石書店、2011年)、『史学雑誌』第121巻第8号、2012年、1492-1493頁。
- (書評) 『中国同里宣卷集』(鳳凰出版社、2011年)、『中国都市芸能研究』第10号、2012年、67-82頁。
- (書評) 田中比呂志著『近代中国の政治統治と地域社会——立憲地方自治地域エリート』(研文出版、2010年)、『史学雑誌』第120巻第12号、2011年、2017-2026頁。
- (書評) 吉澤誠一郎著『清朝と近代世界 19世紀<シリーズ中国近現代史①>』(岩波書店、2010年)、『歴史評論』第736号、2011年、102-107頁。
- (書評) 小島淑男著『近代中国の農村経済と地主制』(汲古書院、2006年)、『現代中国研究』第20号、2007年、116-123頁。
- (書評) 黄東蘭著『近代中国の地方自治と明治日本』(汲古書院、2005年)、『法制史研究』第56号、2007年、237-243頁。
- (書評) 夏井春喜著『中国近代江南の地主制研究——租棧関係簿冊の分析』(汲古書院、2001年)、『史学雑誌』第112巻第11号、2003年、1851-1859頁。
- (書評) 吉澤誠一郎著『天津の近代——清末都市における政治文化と社会統合』(名古屋大学出版会、2002年)、『歴史評論』第643号、2003年、94-99頁。
- (書評) 侯楊方著『中国人口史民国巻』(復旦大学出版社、2000年)、『東洋学報』第85巻第2号、2003年、281-288頁。

B. 本研究科着任後の研究活動(着任2009年)

(a) 国内外学会発表

- 佐藤仁史「フィールドからみる中国近現代史」2019年度三田史学会東洋史部会例会(於慶應義塾大学三田キャンパス)、2019年12月18日
- 佐藤仁史「田野中的近現代江南的社会：以口述歴史和地方文獻爲例(Oral Archives and Local Materials in the lower Yangzi Delta in Modern and Contemporary China)」the Conference “New perspectives on Chinese history: The use of archives from the middle and lower course of the Yangzi River and related regions (16th century - 1949)”(於フランス極東学院)、2019年10月18日
- 佐藤仁史「清末民国時期的胥吏与郷村役」第1届歴史人類学論壇「明清社会研究基本問題」(於一橋大学国立キャンパス)、2019年1月16日
- 佐藤仁史「近代中国の『風俗改良』と地域文化」アジア教育史学会大会シンポジウム「教育から地域をみる」(於明治大学駿河台キャンパス)、2018年8月6日
- 佐藤仁史「中国社会中的民間信仰：以宝巻爲中心」“中国社会史教材的写法”學術研討論会(於蘇州科技大学敬文書院)、2017年11月30日
- 佐藤仁史「当代中国農村的民俗文化与婦女網絡：以江南爲例」SCIEA 9th Annual Meeting (Beijing Foreign Studies University)、2017年5月13日
- 佐藤仁史「清末民国時期的田賦改革与地方自治：以征税程序爲中心」“明清江南社会經濟史的基本問題”學術研討論会(於中山大学珠海校区)、2017年4月10日
- 佐藤仁史「從民間芸能看江南農村和信仰」AoE Workshop on Local Society and its Religious Institutions(於香港中文大學歴史人類学中心)、2016年9月29日
- 佐藤仁史「芸能民間信仰からみる近現代江地域社会史——宣巻(宝巻)を事例に」「江南地域社会史研究の回顧と展望」ワークショップ(於慶應義塾大学三田キャンパス南校舎471教室)、2016年7月2日

- 佐藤仁史「芸能からみる近現代中国地域社会史——最近の宣卷調査を踏まえて」中国都市芸能研究会 2016 年度春季大会（於慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎小会議室）、2016 年 5 月 8 日
- 佐藤仁史「民国時期日本在上海地区的宗教調査：以大谷派僧侶藤井草宣為例」中央研究院台湾史研究所主催“第四届族群、歷史与地域社会研討会”（於中央研究院台湾史研究所）、2015 年 11 月 20 日
- * 佐藤仁史「民俗“復興”的時代性：宣卷与江南農村的民俗生活」“全球史視野下的江南文化与社会變遷”國際學術研討会（於蘇州科技学院）、2015 年 11 月 14 日
- 佐藤仁史「從林産看近代錢塘江流域社会：以建德和桐廬的口述調査為中心」2015 年中国社会科学論壇：中国古代社会变化与思想變遷國際學術研討会（於中国社会科学院歷史研究所）、2015 年 11 月 6 日
- 佐藤仁史「被切斷的記憶：從一位「富農」的講述看近代江南的農村社会」中央研究院近代史研究所主催「從口述歷史尋找新議題」工作坊（於中央研究院近代史研究所）、2015 年 3 月 21 日
- 佐藤仁史「清末民国時期的地方志与地域的叙述」香港浸会大學歷史系「明清史——史料与課題」學術研討会（於香港浸会大學歷史系）、2015 年 1 月 10 日
- 佐藤仁史「滿鐵上海事務所的華中調查報告及其史料價值」復旦大學歷史系主催“變遷中的明清江南社会与文化”國際學術研討会（於復旦大學歷史系）、2014 年 12 月 20 日
- 佐藤仁史「江南農村的宣卷与民俗生活：著眼於芸人与客戶之間的關係」中国宝卷研究國際研討会暨中国俗文学学会 2014 年學術年会（於揚州大学）、2014 年 10 月 18 日
- 佐藤仁史「清末民初政争中地方的对立局勢：以江蘇省嘉定縣的地方領導、自治、政党為個案分析」《近代史研究》雜誌社和四川大学歷史文化學院第四期中国近代史論壇“地方的近代史：州縣士庶的思想与生活”學術會議（於四川大学歷史文化學院）、2014 年 10 月 13 日
- 佐藤仁史「從滿鐵上海事務所来看日本的華中調查」中央研究院近代史研究所主催「全球視野下的中国近代史研究」國際學術研討会（於台湾中央研究院近代史研究所）、2014 年 8 月 13 日
- 佐藤仁史「近代江南的漁民与天主教」第 9 届文化交流史暨輔大歷史学系在台 50 週年：传承与涵化國際學術研討会（於台湾輔仁大学）、2013 年 11 月 8 日
- 佐藤仁史「清末民国期的地方文献と地域の叙述 ——江蘇省を事例に」広島史学研究会 2013 年度大会（於広島大学）、2013 年 10 月 27 日
- 佐藤仁史「近代錢塘江流域的山区社会——林産の流通与生産為中心」浙江大学地方歷史文書編纂与研究中心ほか主催“龍泉司法檔案研究”學術研討会（於浙江省龍泉市）、2013 年 8 月 21 日
- 佐藤仁史「從林産看近代錢塘江流域与山区社会——以九姓漁戶的航運業者為中心」中山大学歷史地理中心主辦“山地歷史人文地理”學術研討会（於廣東省清遠市清新花園酒店）、2013 年 7 月 9 日
- 佐藤仁史「清末民初的徵稅機構改革与政治对立——以江蘇省嘉定縣的夫束問題為例」香港中文大学文學院主催“明清宏觀歷史脈絡下的財政与国家”研討会（於香港中文大学）、2013 年 7 月 6 日
- 佐藤仁史「分斷された記憶——ある元「富農」の語りからみる近代江南の農村社会」2013 年度三田史学会大会東洋史部会（於慶應義塾大学）、2013 年 6 月 22 日
- 佐藤仁史「淨圓寺史料と近現代中国社会史研究」愛知大学國際問題研究所ワークショップ「淨圓寺鳥居觀音史料から見る日中關係」（於愛知大学名古屋校舎）、2013 年 2 月 21 日
- 佐藤仁史「如何利用日本の中國調査資料？——以江南為中心」香港中文大学主催“明清江南市鎮与運河”研討会（於蘇州書香世家樹山酒店）、2012 年 10 月 29 日
- 佐藤仁史「九姓漁戶的近現代史——建德桐廬九姓漁戶的調查報告」香港中文大学主催「從浮生到定居：水上人上岸史比較研究」學術研討会（於香港中文大学）、2012 年 10 月 14 日
- 佐藤仁史「中国近現代基層社会史与口述資料——以太湖流域社会史調査為中心」浙江大学歷史系主催“新史料与新史學：挑戰与機遇”研討会（於浙江大学歷史系）、2012 年 8 月 26 日
- 佐藤仁史「日本の近現代中国基層社会史研究与田野調査」台湾大学政治系主催「中国研究の口述史工作坊——東

- 南亜与日本」(於台湾大学政治系)、2012年7月27日
- 佐藤仁史「近現代中国基層社会史研究とアーカイブズ」関西大学アジア文化研究センター第1回研究集会「アジア研究における学術アーカイブの現状と発展」(於関西大学)、2012年3月27日
- 佐藤仁史「民間信仰からみる近代江南社会と華北社会——祠廟を中心に」東洋文庫シンポジウム「華北の発見」(於東洋文庫)、2012年2月12日
- 佐藤仁史「オーラルヒストリーからみる民国期江南農村——ある元「富農」の語り」立命館大学経済学会セミナーシリーズ「近代中国農村社会経済史の研究」(於立命館大学エポック立命21)、2012年1月31日
- 佐藤仁史「日本的近代中国農村史研究和田野調査：以江南為中心」中国社会的歴史人類学中期学術會議(於香港中文大学歴史系)、2011年8月9日
- 佐藤仁史「從民間信仰看近代江南和華北的農村社会：以香頭会首為中心」香港中文大学主催「太湖流域市鎮与鄉村聚落歴史学術研討會」(於浙江省湖州荻港村荻港魚莊)、2011年1月9日
- 佐藤仁史・太田出「中国近現代口述史における「語り」とオーラルヒストリー資料」第852回日本民俗学会談話会：國際シンポジウム「オーラルヒストリーと〈語り〉のアーカイブ化に向けて——文化人類学社会学歴史学との対話」(於成城大学)、2010年9月20日
- 佐藤仁史「從清末民国時期的“教育圈”看江南市鎮：以江蘇省吳江縣為例”“明清以来江南城市的發展与文化交流”國際研討會(於中国復旦大学)、2010年8月22日
- * 佐藤仁史「明清時代の賤民とフィールドワーク——建徳桐廬九姓漁戶調査より」第24回明清史夏合宿(於箱根高原ホテル)、2010年8月3日
- 佐藤仁史「從田野調查看近現代江南農村的“生活世界”：民間信仰与基層社会關係」第4回日韓兩地域中国近現代史研究者交流会(於東京学芸大学)、2010年1月9日
- 佐藤仁史・太田出「船上生活者からみる近現代中国の基層社会——浙江省建徳・桐廬九姓漁戶口述調査に即して」國際ワークショップ「中国基層社会におけるフィールドワークの現状と課題」(於慶應義塾大学東アジア研究所)、2009年10月24日

(b) 国内研究プロジェクト

・科学研究費

【研究代表者】

- 2020年度～2024年度科学研究費補助金基盤研究C「近現代中国における『風俗』論に関する社会史研究」
- 2014年度 JFE21 世紀財団・アジア歴史研究助成「近代中国の郷土意識と地域文化に関する社会史研究」
- 2013年度～2016年度科学研究費補助金基盤研究B(海外學術調査)「近現代太湖流域農山漁村における自然資源管理に関する現地調査」
- 2009年度～2011年度科学研究費補助金研究若手研究B「中国建国初期、江南郷鎮社会の再編に関する現地調査」

【研究分担者・連携研究者】

- 2020年度～2023年度「近現代中華圏における芸能文化の伝播・流通・変容(代表・山下一夫)」(研究分担者)
- 2016年度～2020年度科学研究費補助金基盤研究B「情報時代における中国学研究・教育オープンプラットフォームの構築(代表・二階堂善弘)」(研究分担者)
- 2015年度～2018年度科学研究費補助金基盤研究B「近現代中華圏の伝統芸能と地域社会～台湾の皮影戲・京劇・説唱を中心に(研究代表者・氷上正)」(研究分担者)
- 2014年度～2018年度「東アジア「近世化」と秩序意識の比較社会史(研究代表者・山田賢)」(研究分担者)
- 2011年度～2014年度科学研究費補助金基盤研究B「近代中国における民間宗教経巻資料の学際的研究(代表：山下一夫)」(研究分担者)

- 2011 年度～2015 年度科学研究費補助金基盤研究 B 「情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立（代表・二階堂善弘）」（研究分担者）
- 2010 年度～2013 年度科学研究費補助金基盤研究 B 「近現代中国における伝統芸能の変容と地域社会（研究代表者・氷上正）」（研究分担者）
- 2010 年度～2014 年度科学研究費補助金基盤研究 A（海外学術調査）「近現代中国農村における環境ガバナンスと伝統社会に関する史的研究（研究代表者・内山雅生）」（連携研究者）
- 2009 年度～2012 年度科学研究費補助金基盤研究 B 「1910～30 年代における日本の中国認識——華北地域を中心に（研究代表者・本庄比佐子）」（連携研究者）
- 2008 年度～2011 年度科学研究費補助金基盤研究 B（海外学術調査）「解放前後、太湖流域農漁村の「郷土社会」とフィールドワーク（研究代表者・太田出）」（連携研究者）
- 2007 年度～2009 年度科学研究費補助金特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成——寧波を焦点とする学際的創生（研究代表者・小島毅）」（研究分担者）

・その他

- 2009 年度～2020 年度 東洋文庫近代中国研究班「近代日本の中国調査」
- 2013 年度～2015 年度 慶應義塾大学東アジア研究所プロジェクト「近代中国の表象とその可能性」
- 2008 年度～2010 年度 慶應義塾大学東アジア研究所プロジェクト「近代中国の地域像」

(c) 国際研究プロジェクト

- 2011 年度～2017 年度 香港中文大学歴史系 David Faure 教授の主催する香港卓越學科領域研究「The Historical Anthropology of Chinese Society」に研究メンバーとして参加（2016 年 9 月～2017 年 8 月の在外研究もこの一環）

(d) 研究会、シンポ等のオーガナイズ

- 2013 年 7 月～現在、「満洲の記憶」研究会を主催（出版活動、学術報告、ニューズレター）

C. 受賞

- 第 1 回井筒俊彦学術賞（『近代中国の郷土意識』に対して）、2015 年 6 月

6. 学内行政

(B) 学内委員会

- 2020 年度・2021 年度 テーチャング・フェローコース担当委員
- 2019 年度・2120 年度 紀要『一橋社会科学』編集委員会編集委員（副委員長・委員長）
- 2019 年度・2020 年度 研究分野主任
- 2018 年度 連続市民講座準備委員会委員
- 2015 年度 入試試験委員会委員
- 2015 年度 研究科運営委員会委員
- 2015 年度 派遣・受入留学生選考専門委員会委員
- 2014 年度 オープンキャンパス実施専門委員会委員
- 2014 年度・2015 年度 学部教育専門委員

2013 年度・2014 年度 大学院入学試験幹事
2012 年度・2013 年度 テーチング・フェローコース担当委員
2012 年度・2013 年度 一橋大学付属図書館委員会委員
2011 年度～2014 年度 機関リポジトリ運営会議委員
2009 年度～2020 年度 IT・イントラネット委員会委員

(C) 課外活動顧問

ボクシング部顧問 (2020 年 12 月～)

7. 学外活動

(a) 他大学非常勤講師など

杏林大学外国語学部非常勤講師 (1997 年 4 月～2001 年 3 月)
慶應義塾大学商学部非常勤講師 (2000 年 4 月～2001 年 3 月)
早稲田大学メディアネットワークセンター非常勤講師 (2000 年 4 月～2001 年 3 月)
早稲田大学メディアネットワークセンター共同研究員 (2001 年 4 月～2003 年 3 月)
慶應義塾大学東アジア研究所所員 (2008 年 4 月～2010 年 3 月、2013 年 4 月～2016 年 3 月)
滋賀大学教育学部非常勤講師 (2009 年度夏季・冬季集中講義、2014 年度夏季集中講義)
財団法人東洋文庫研究員 (客員) (2009 年 4 月～現在)
東京大学 ASNET「日本アジア学」講座講師 (2010 年度 2011 年度)
関西大学アジア文化研究センター (CSAC) 客員研究員 (2011 年 11 月～2016 年 3 月)
慶應義塾大学文学部非常勤講師 (2012 年 4 月～2014 年 3 月)
南山大学外国語学部非常勤講師 (2013 年度秋季集中講義)
早稲田大学文学学術院非常勤講師 (2013 年度・2014 年度・2015 年度冬学期)
国際基督教大学教養学部非常勤講師 (2014 年 4 月～6 月)
津田塾大学学芸学部非常勤講師 (2014 年 4 月～2015 年 3 月)
国際基督教大学アジア文化研究所研究員 (2014 年 4 月～2016 年 3 月)
中山大学歴史地理研究中心兼職研究員 (2014 年 4 月～現在)
九州大学大学院人文科学府非常勤講師 (2015 年度夏季集中講義)
蘇州科技大学人文学院兼職教授 (2015 年 11 月～2019 年 12 月)
早稲田大学政治経済学術院非常勤講師 (2018 年度冬学期、2019 年度夏学期、2020 年度冬学期)

(b) 所属学会および学術活動

三田史学会
史学会会員 (2010 年 7 月～2014 年 6 月、『史学雑誌』編集委員)
漢字文献情報処理研究会 (2003 年 1 月～現在、同会幹事、『漢字情報処理研究』編集委員)
中国社会文化学会
歴史学研究会
神阪京華僑口述記録研究会
日本現代中国学会 (2019 年 4 月～現在、関東部会幹事)
歴史科学協議会 (2010 年 11 月～2015 年 11 月、『歴史評論』編集委員)
『歴史人類学学刊』編集委員会委員 (香港の学術雑誌、2018 年 1 月～現在)

(c) 公開講座市民講座

- 佐藤仁史「敗戦後満洲の如水会員：『八木間一日記』に見る戦後「満洲」第50回一橋祭一橋いしぶみの会企画「戦争と一橋生」（於一橋大学）、2019年11月24日
- 佐藤仁史「満洲国“五族協和”的理想と現実」新亜研究所「誠明学社」講座「族群、国家的建構：從中国歴史説起」（商務印書館尖沙咀圖書中心）、2017年5月31日
- 佐藤仁史「從記憶到歴史——以満洲遣送日人為例」香港海防博物館週末講座（於香港海防博物館）、2016年10月15日
- 佐藤仁史「生きる——三度捕虜になった日本人兵士の物語」かどがわ文化財知っとく塾第6回講座（於門川町役場）、2016年2月18日
- 佐藤仁史「『迷信』から無形文化財へ——近現代中国における民俗文化の復興と変容」一橋大学社会学部読売新聞立川支局共催連続市民講座2014（於一橋大学兼松講堂）、2014年7月21日

(e) その他（公的機関各種団体民間企業等における講演等）

- 佐藤仁史「“迷信”与非遺之間：關於江南的民間信仰的一些思考」蘇州科技大学敬文書院における講演、2017年11月26日
- 佐藤仁史「日本的近代中国郷村社会研究」浙江大学西溪校区における講演、2017年11月22日
- 佐藤仁史「満鐵上海事務所調査と近代中国社会史研究」中国中山大学歴史学系（珠海校区）における講演、2017年6月17日
- 佐藤仁史「“迷信”与非遺之間：關於江南的民間信仰与農村婦女的一些思考」香港中文大学歴史人類学研究中心における講演、2017年4月20日
- 佐藤仁史「怎麼搜集和閱讀地方報？：以江南為例」上海交通大学“明清以来地方文献”研究生国際暑期学校（於上海交通大学閔行校区）、2016年7月7日
- 佐藤仁史「フィールドで集める史料、フィールドで読む史料」南山大学アジア太平洋研究センター主催講演会「史料をめぐる「冒険」——近現代中国地域史研究の場合」、2016年1月9日
- 佐藤仁史「日本学者視野的江南地域社会史——以民間信仰為中心」蘇州科技学院における講演、2015年11月16日
- 佐藤仁史「戦後日本の満洲記憶——根據遣返日人団体所発行会報的初步分析」香港科技大学における講演、2015年10月20日
- 佐藤仁史「關於満洲遣返日人団体的刊物及其史料価値」香港樹仁大学における講演、2015年10月19日
- 佐藤仁史「戦後日本の満洲記憶——以遣返日人団体為中心」南開大学社会史研究中心における講演、2015年5月7日
- 佐藤仁史「太湖流域社会史的回顧与研究方法——以廟会組織為中心」台湾大学歴史学系における講演、2014年3月28日
- 佐藤仁史「清末的城鎮郷自治与自治区設定問題——以江蘇蘇属地方自治籌辦处的管轄地区為中心」台湾中央研究院近代史研究所における講演、2014年3月25日
- 佐藤仁史「太湖流域社会史調査的日本伝統——以民間信仰為例」中国中山大学における講演、2014年3月22日
- 佐藤仁史「近代江南的漁民与信仰——以天主教徒和進香組織為中心」香港浸会大学における講演、2014年3月17日
- 佐藤仁史「歴史からみる中国の人と人との繋がり」、トヨタ自動車本社における研修での講演、2014年3月7日
- 佐藤仁史「岐視与無関心之間——浙江的賤民九姓漁戶的歴史和生活」暨南国際大学での講演、2013年3月18日

8. 官公庁等各種審議会委員会等における活動

2016年4月～現在 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構学位審査会専門委員

9. 一般的言論活動

満洲国末期の日記について

「日記分析 満洲の記憶に光」『読売新聞』2020年9月2日

“Journal sheds light on secret relocation plan for Manchukuo govt”, The Japan News, August 12, 2020.

「『満洲国』政府幻の移転計画 終戦直前の公示日記発見」『読売新聞』2020年8月12日夕刊

・朝鮮戦争で捕虜となった日本人兵士について

「異国生き抜いた10年 宮崎出身の松下さん3度捕虜に」『東京新聞』2016年7月31日

「生きる 3度捕虜になった日本人兵士の物語①～⑥ 一橋大学佐藤仁史教授の講演から」『夕刊デイリー』2016年3月16日、17日、18日、21日、22日、23日

「一兵士生き抜いた10年 日中韓で4軍隊に徴兵」『西日本新聞』2016年2月18日